

## 平成26年度 学校評価を終えて

神港学園では学校教育法の改正を契機として、学校評価（以下自己評価の実施・公表、生徒・保護者の評価・公表）を実施する制度を構築してまいりました。アンケート調査は今回で7回目となります。

学校評価の目的は「各学校が自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること」が学校評価ガイドラインの中に明記されています。本学園は「教育目標」、「学校生活」、「学習指導」、「生徒指導」及び「進路指導」の5項目について生徒・保護者・教員にアンケートを行い、客観性を高める工夫をいたしました。

教育目標である「品位のある生徒」・「規律正しい生徒」・「持久力のある生徒」の育成のために、本年度は「挨拶ができる」・「基本的生活習慣を身につける」・「基礎学力を身につける」・「進路実現を図る」ことを指導の柱に据え、「社会で活躍する人材の育成」に取り組んできました。

教員の指導力の向上のため、多数の校内研修の実施や校外での研修にも積極的に参加しています。さらには、平成20年度よりの教職員の自己評価、平成26年度より毎学期末に部・学年・事務・各委員会に対する分掌中間点検を行い、改良する点を早期発見し、速やかに対処する方向へ動いています。

今回この学校評価アンケートの集計結果をお知らせさせていただきます。

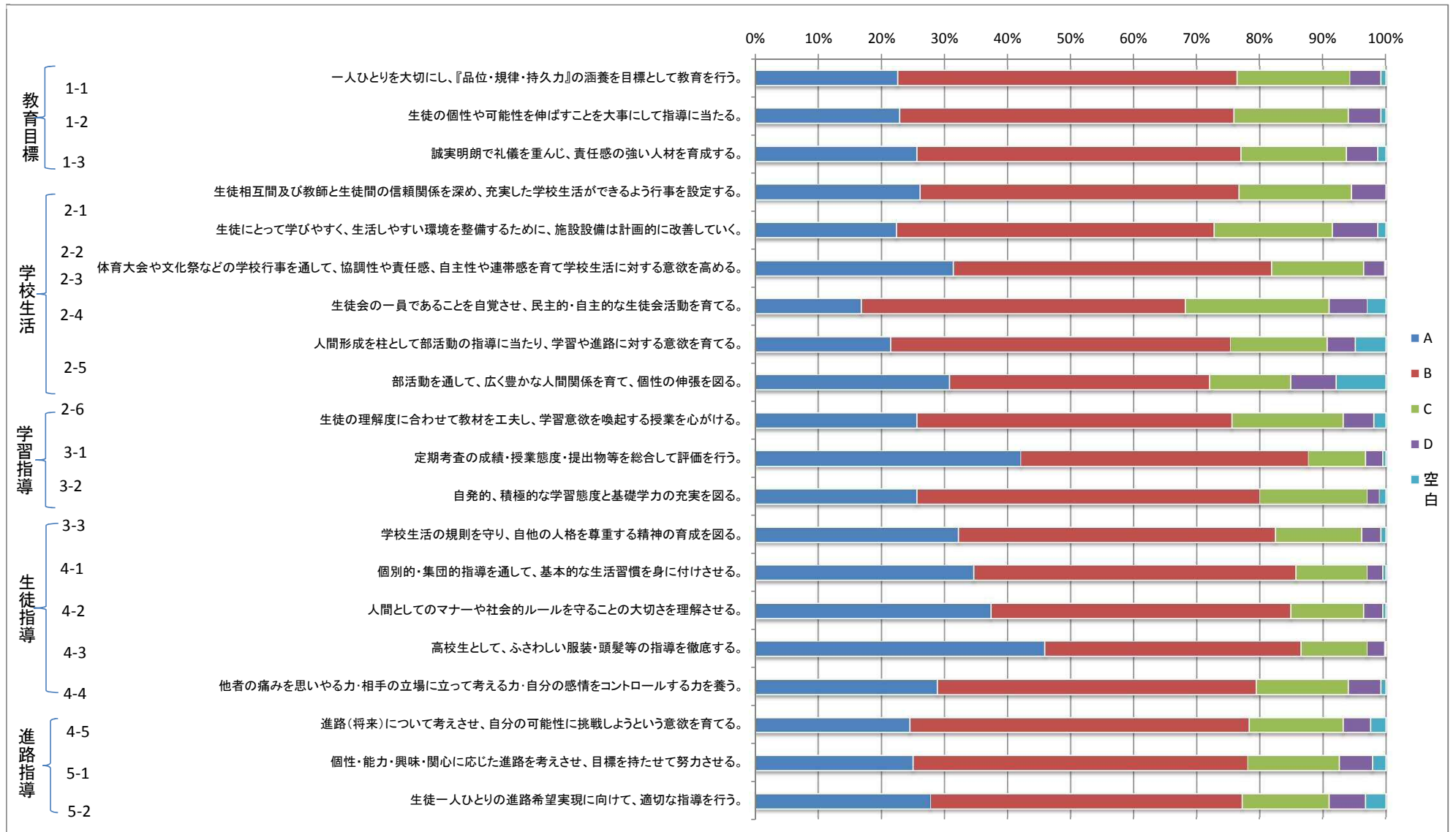
最初に質問した「教育目標」については、生徒・保護者の多くに肯定的な評価をいただきましたが、その他の質問を通じていくつかの課題も浮かび上がってまいりました。これから実施する学校関係者評価も含め、十分な分析を行うことで明確になる課題に対して、真摯に向き合い改善し、質の高い教育を生徒に提供し、活気ある学園、信頼される学園を目指していく所存です。平成27年度においては、今年度目標の「基礎基本の徹底」と「共通認識・協働実践」を基盤として、より高度で具体的な目標を掲げてまいりたいと考えております。

このアンケートの集計結果をご覧いただきまして、忌憚のないご意見ご指導を頂くことができれば幸いと存じます。

平成27年3月30日

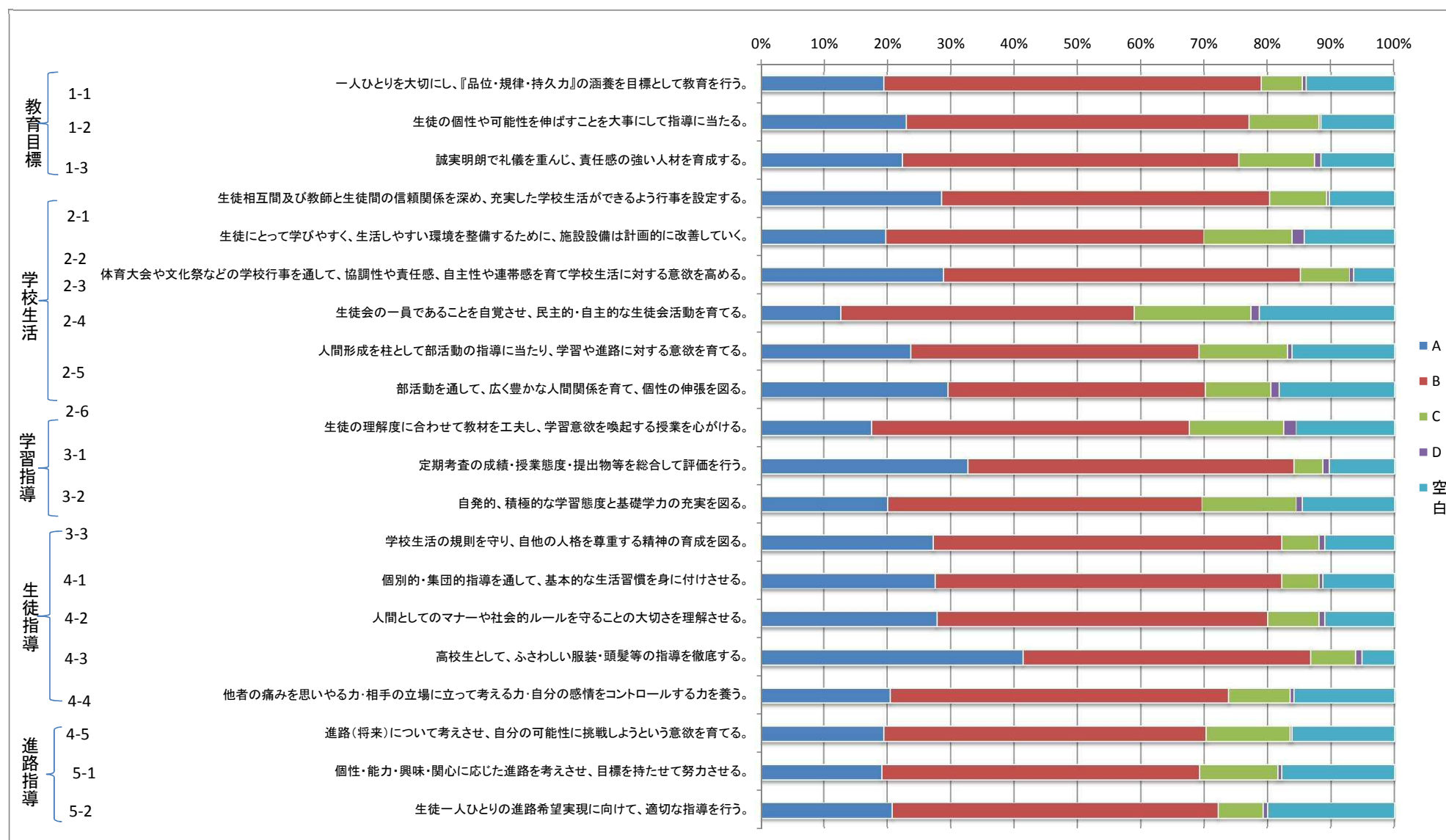
神港学園神港高等学校  
校長 増尾 禮二

平成26年度 1学年生徒 アンケート 回収率100%



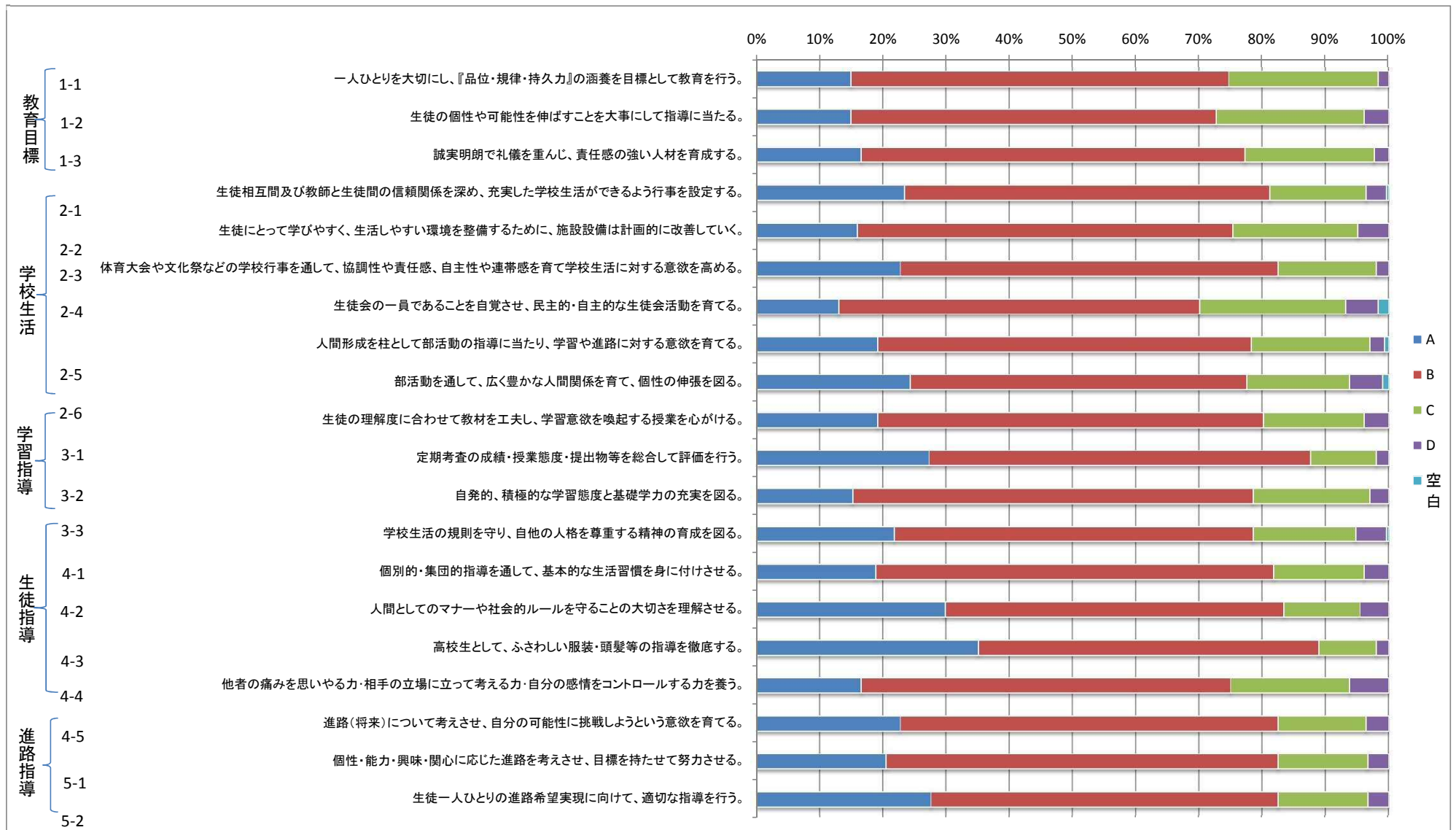
A:よくあてはまる。B:ややあてはまる。C:あまりあてはまらない。D:まったくあてはまらない。E:空白

平成26年度 1学年保護者 アンケート 回収率85.4%



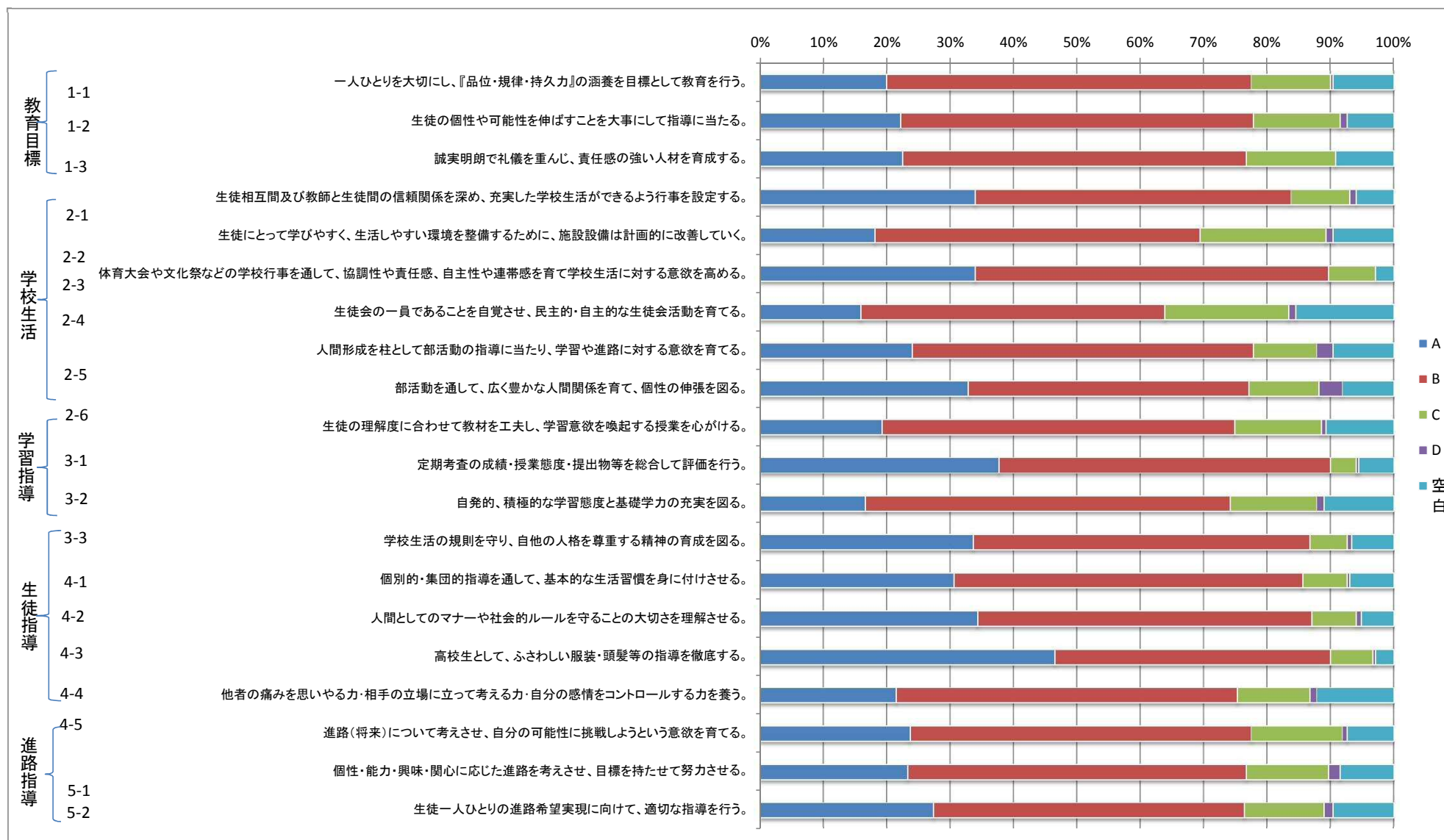
A:よくあてはまる。B:ややあてはまる。C:あまりあてはまらない。D:まったくあてはまらない。E:空白

平成26年度 2学年生徒 アンケート 回収率100%



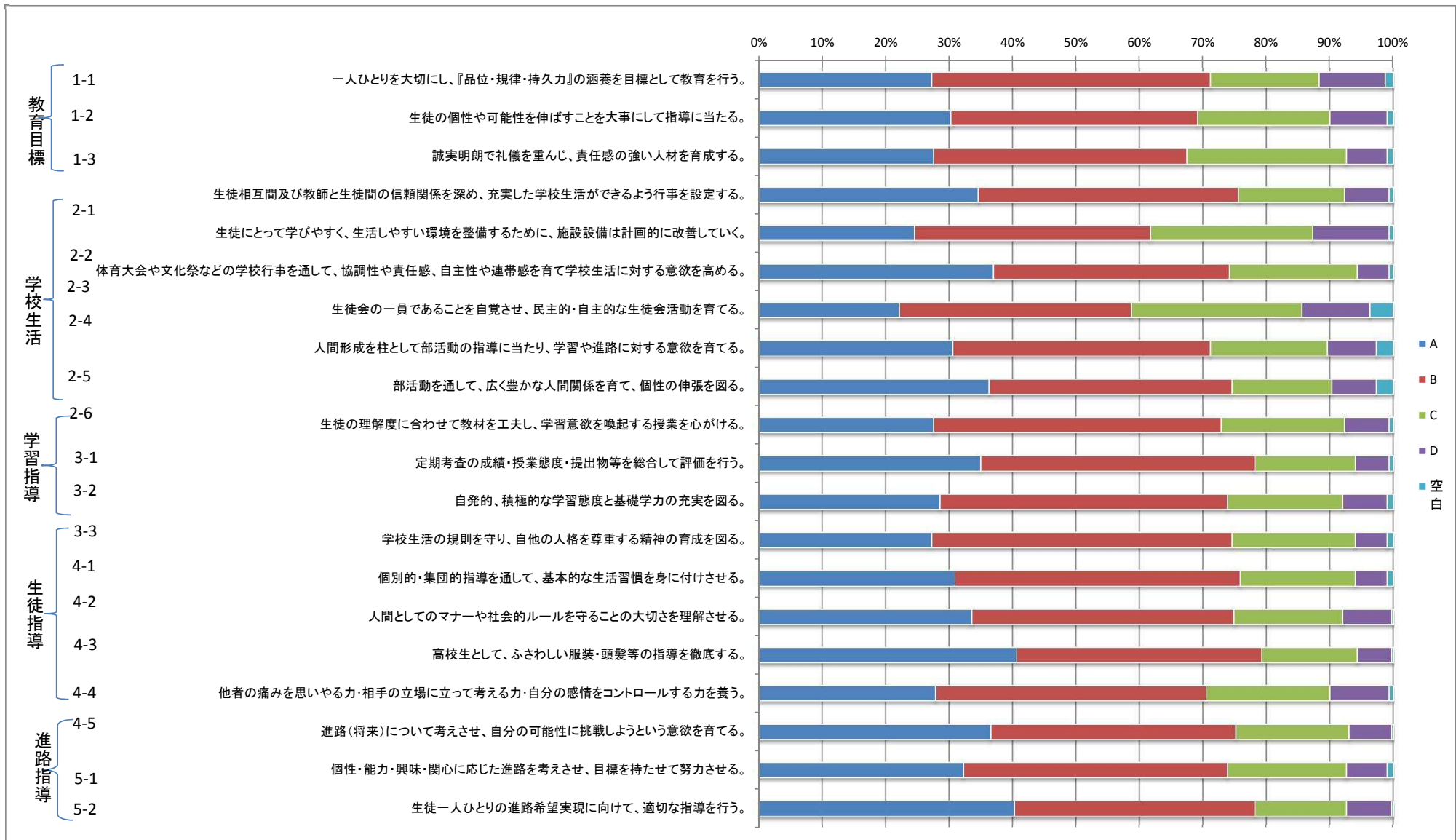
A:よくあてはまる。B:ややあてはまる。C:あまりあてはまらない。D:まったくあてはまらない。E:空白

平成26年度 2学年保護者 アンケート 回収率88.0%



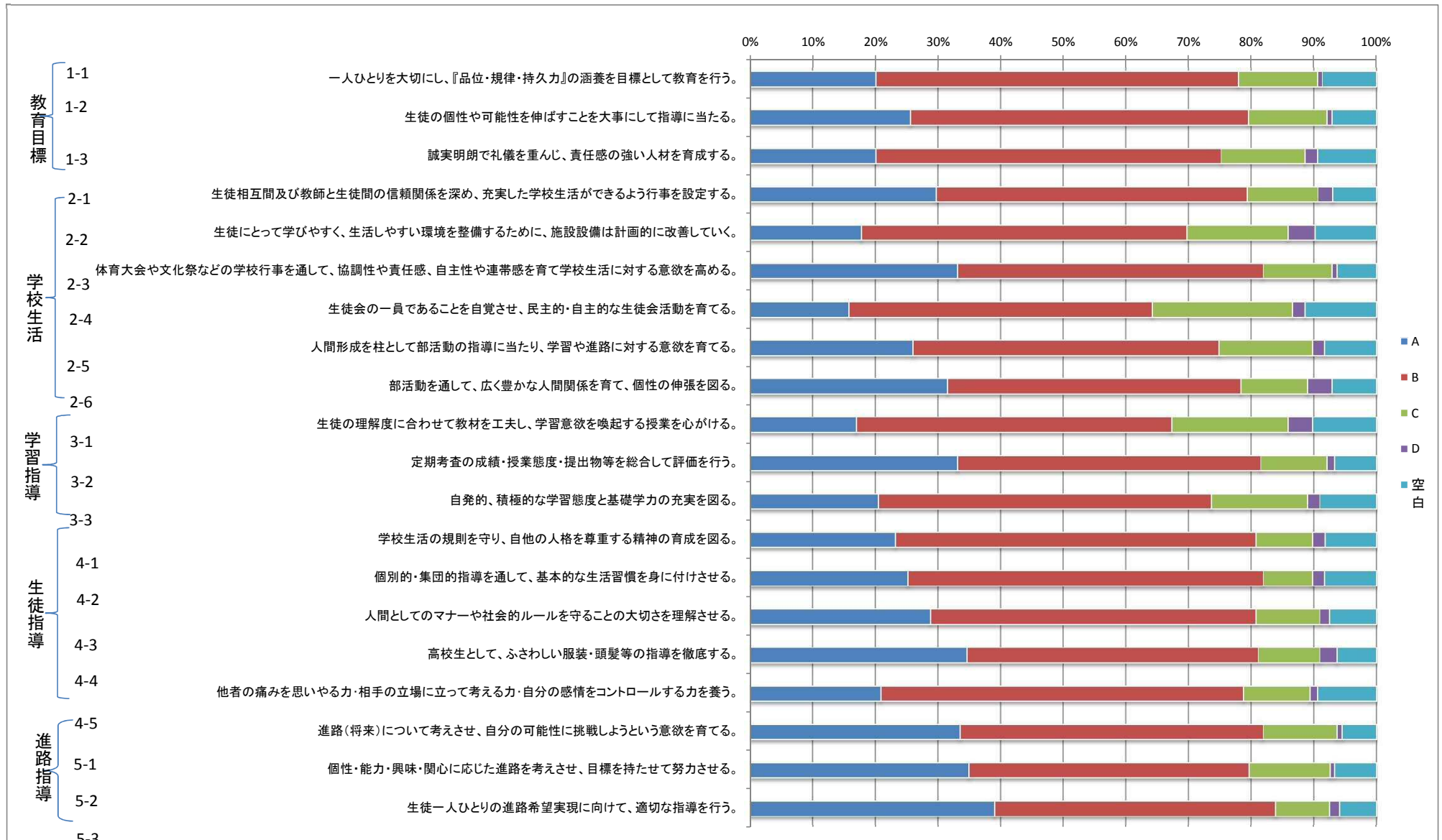
A:よくあてはまる。B:ややあてはまる。C:あまりあてはまらない。D:まったくあてはまらない。E:空白

平成26年度 3学年生徒 アンケート 回収率100%



A:よくあてはまる。B:ややあてはまる。C:あまりあてはまらない。D:まったくあてはまらない。E:空白

平成26年度 3学年保護者 アンケート 回収率85.2%



A: よくあてはまる。B: ややあてはまる。C: あまりあてはまらない。D: まったくあてはまらない。E: 空白

## 学校関係者評価に対する本年度資料2

本校での自己評価及び関係者評価において次の1～5の5項目です。

## 1. 教育目標3項目

3つの校訓を目標に、神港学園の生徒であることに自信と誇りを持つ生徒を育てる。

1-1 一人一人を大切に、校訓「品位・規律・持久力」を目標として教育する

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
1-1	3年	71%	3年	78%	全体的に肯定的な意見である。
1-1	2年	75%	2年	78%	
1-1	1年	76%	1年	79%	
1-1			教職員	83%	

1-2 生徒の個性や可能性を伸ばす指導

1-2	3年	69%	3年	80%	3年生徒が若干低いが肯定的な意見である。
1-2	2年	73%	2年	78%	
1-2	1年	76%	1年	77%	
1-2			教職員	83%	

1-3 誠実明朗で礼儀を重んじ、責任感の強い人材を育てる

1-3	3年	67%	3年	75%	3年生徒が若干低いが平成26年度から礼儀・服装等の基礎基本への徹底指導を実践しており、登校・遅刻指導をしている。
1-3	2年	77%	2年	77%	
1-3	1年	77%	1年	75%	
1-3			教職員	83%	

## 2. 学校生活6項目

学校生活においては、生徒間・教師間の信頼関係を深め、行事を通して、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高め、その為に必要な施設設備を改善し、部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成を目指す。

2-1 生徒間・教師間の信頼関係を深め、充実した生活が出来るように行事の設定

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
2-1	3年	76%	3年	79%	3年・1年の生徒の評価が若干低いが、生徒と教師の信頼関係は十分出ている。
2-1	2年	81%	2年	84%	
2-1	1年	77%	1年	80%	
2-1			教職員	86%	

2-2 学びやすく、生活しやすい環境整備のための施設設備の計画的改善

2-2	3年	62%	3年	70%	3年生徒・2年保護者の評価が少し他より低いが、環境整備、施設等に関しては、少し不十分との評価である。
2-2	2年	75%	2年	69%	
2-2	1年	73%	1年	70%	
2-2			教職員	72%	

2-3 学校行事を通じて、協調性・責任感・自主性・連帯感を育成し学校生活の意欲を高める

2-3	3年	74%	3年	82%	連帯感の意識等に関しては十分と思われる。
2-3	2年	83%	2年	90%	
2-3	1年	82%	1年	85%	
2-3			教職員	83%	

2-4 社会の一員であることを自覚させ、民主的・自主的な生徒会活動

2-4	3年	59%	3年	64%	3年生徒の評価が低いが、生徒会の一員であるとの認識が少ないと考えられる。
2-4	2年	70%	2年	90%	
2-4	1年	68%	1年	59%	
2-4			教職員	60%	

2-5 人間形成を柱として部活動の指導し、学習や進路に対する意欲を育てる

2-5	3年	71%	3年	75%	部活動の指導や学習に対する意欲を育てていると肯定的である。
2-5	2年	78%	2年	78%	
2-5	1年	75%	1年	69%	
2-5			教職員	86%	

2-6 部活動を通じて、広く豊かな人間関係の育成

2-6	3年	74%	3年	78%	人間関係の育成に関しておおむね肯定的である。
2-6	2年	78%	2年	77%	
2-6	1年	72%	1年	70%	
2-6			教職員	90%	



3. 学習指導3項目

基礎基本を大切に、基礎学力の充実・定着、授業の充実、評価の適正化を目指し総合的に評価する。

3-1 生徒の理解度に合わせて教材を工夫し、学習意欲を喚起する授業

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
3-1	3年	73%	3年	67%	3年・1年の保護者の評価が60%台と低いが、他は70%台以上であり、もう少しの工夫の必要性がある。
3-1	2年	80%	2年	75%	
3-1	1年	76%	1年	68%	
3-1			教職員	90%	

3-2 定期考査・授業中の態度・提出物等総合して評価

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
3-2	3年	78%	3年	82%	評価に対しては満足であると肯定的である。
3-2	2年	88%	2年	90%	
3-2	1年	88%	1年	84%	
3-2			教職員	96%	

3-3 基礎学力の充実・自発的・積極的な学習態度の育成

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
3-3	3年	74%	3年	74%	学習態度に対しては、肯定的である。
3-3	2年	79%	2年	74%	
3-3	1年	80%	1年	70%	
3-3			教職員	78%	

4. 生徒指導5項目

社会人へ成長するために必要なマナー、社会的ルール、基本的生活習慣を身に付け、自他の人格を尊重する精神の育成

4-1 学校生活の規則の遵守・自他の人格を尊重する精神の育成

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
4-1	3年	74%	3年	81%	規則に関しては肯定的である。
4-1	2年	79%	2年	87%	
4-1	1年	82%	1年	82%	
4-1			教職員	89%	

4-2 個別的・集団的指導を通して、基本的生活習慣を身につけるさせる

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
4-2	3年	76%	3年	82%	生活習慣に関しては肯定的、基本的生活習慣に関しては指導しているとの肯定的意見である。
4-2	2年	82%	2年	86%	
4-2	1年	86%	1年	82%	
4-2			教職員	93%	

4-3 人間としてのマナー・社会的ルールを守ることの大切さを理解させる

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
4-3	3年	75%	3年	81%	ルールに関しては肯定的、電車内でのマナー、下校時の指導をする必要がある。
4-3	2年	83%	2年	87%	
4-3	1年	85%	1年	80%	
4-3			教職員	90%	

4-4 高校生として、ふさわしい服装・頭髪等の指導の徹底

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
4-4	3年	79%	3年	81%	服装・頭髪の指導は厳しく指導している。
4-4	2年	89%	2年	90%	
4-4	1年	87%	1年	87%	
4-4			教職員	96%	

4-5 他者の痛みを思いやる力・相手の立場に立つて考える力・自分の感情をコントロール力を養う

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
4-5	3年	70%	3年	79%	感情のセルフコントロールの出来ない生徒に対する対応も大事である。
4-5	2年	75%	2年	75%	
4-5	1年	79%	1年	74%	
4-5			教職員	79%	

5. 進路指導3項目

進路について自分の可能性に挑戦する意欲・個性・能力・興味・関心に応じた進路を考えさせ、適切な指導をする。

5-1 進路について考えさせ、自分の可能性に挑戦しようとする意欲を育てる

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
5-1	3年	75%	3年	82%	1年保護者以外肯定的、1年生にも情報提供を積極的にする。
5-1	2年	83%	2年	77%	
5-1	1年	78%	1年	70%	
5-1			教職員	86%	

5-2 個性・能力・興味・関心に応じた進路を考えさせ、目標を持たせて努力させる

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
5-2	3年	74%	3年	80%	おおむね肯定的である、早く目標を持たせる指導をしていく。
5-2	2年	83%	2年	78%	
5-2	1年	78%	1年	69%	
5-2			教職員	85%	

5-3 生徒一人ひとりの進路希望実現に向け、適切な指導をする

質問項目番号	学年等	生徒評価 A+B%	保護者教職員	保護者等評価 A+B%	総合評価
5-3	3年	78%	3年	84%	肯定的である。
5-3	2年	83%	2年	76%	
5-3	1年	77%	1年	72%	
5-3			教職員	94%	